様式第２号の１－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。
※令和８年度からの「省令で定める基準単位数」が適用される学科及び学年についてはこちらの様式を利用すること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人　日南学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
看護専門課程（3年課程 全日制）	看護学科	夜・通信	12単位	10単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

日南看護専門学校にて閲覧可能 今後、ホームページにて公表予定　https://nichigaku.info/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

実務経験のある教員による授業科目

分野	教育内容	科　　目　　名	単 位	時 間
専門基礎	健康支援と社会保障制度	関係法規	1	15
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	30
		基礎看護技術１　生活支援の基盤となる看護技術	1	15
		基礎看護技術２　対象把握のための看護技術	1	30
		基礎看護技術３　環境・活動と休息を支える看護技術	1	30
		基礎看護技術４　飲食・排泄を支える看護技術	1	30
		基礎看護技術５　清潔を支える看護技術	1	30
		臨床看護総論	1	30
		看護実践の思考	1	30
	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論	1	30
	小児看護学	小児看護学概論	1	30
	母性看護学	母性看護学概論	1	30
合計			12	330

様式第２号の２－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人　日南学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

法人本部にて閲覧可能

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元学校法人日南学園 理事長	R7.5.31～ R11.5.30	教育行政担当
非常勤	会社役員 コーストライフ社	R7.5.31～ R11.5.30	学校と地域との連携担当
非常勤	会社員 宮崎太陽銀行	R7.5.31～ R11.5.30	経理担当
非常勤	会社役員 油津応援団	R7.5.31～ R11.5.30	学校と地域との連携担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人　日南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ＜作成について＞ ・３年間の修業期間において、どの科目をどのような順序で学習していくのかの学科進度表を土台とし、年度末に科目担当教員がシラバス（授業科目の開講時期、単位数、学習目標、授業内容、成績評価方法、担当教員名）を共通フォーマットで作成し、全科目分作成している。 ＜公表について＞ ・入学時、進級時に該当学年分を配布している。

授業計画書の公表方法	シラバスは学校で閲覧可能

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

＜評価の取り組みについて＞

・単位認定試験については、規定時間の３分の２以上の出席時間の確認により受験資格を与えている。
単位認定試験実施で６０点以上が合格となり単位認定される。
６０点に満たない場合は１回のみ再試験を実施し、再試験で６０点以上であれば単位認定とする。
出席時間数が不足していた場合は、同科目を次年度再履修としている。
やむを得ない事情で単位認定試験が受けられなかった場合には、追試験を実施する。

・演習ではルーブリック評価表を用いて教員・学生が到達度を共有して学習に取り組みその反応を評価している。

・実習については、規定時間の３分の２以上の出席時間および、ルーブリック評価表に基づき６割以上の点数の確認により合格とし単位認定している。
点数が６割に満たない場合は１回のみ再実習を実施し、再実習で６割以上であれば単位認定とする。
再実習は、不足している内容に応じて、臨地再実習もしくは学内再実習のどちらかを実施する。
やむを得ない事情での出席時間数不足の場合においては、補習実習を実施する。

＜進級について＞

単位制であるが、進級に関しては以下の条件を定めている。

・1 年次の専門基礎分野の単位を 13 単位中 10 単位以上修得しなければ、基礎看護学実習２には進めない。

・1 年次の基礎看護学の講義単位数を 3 分の２以上修得（『看護実践の思考』は必ず修得すること）しなければ、基礎看護学実習２には進めない。

・基礎看護学及び看護の統合と実践を除く、専門分野（地域・在宅、成人、老年、小児、母性、精神）の講義の単位数を 3 分の２以上修得しなければ、その領域に該当する実習に進むことはできない。

・原則として、3 年次の臨地実習終了時点で、2 科目までの臨地実習（再実習・補習実習）が残っている場合は当該年度内での臨地実習を行うが、3 科目以上の臨地実習が残っている場合は、次年度再履修となる。

・3 年次に次年度の再履修が決まっている場合は、当該年度の統合実習に進むことはできない。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

・成績評価については、単位認定試験、課題レポート、技術試験を実施し、課題レポート、技術試験については評価基準を事前提示してから実施している。
・単位認定結果は、学内に掲示している。
・科目の点数および評価、成績順位は、年３回成績表を個別に通知している。
・授業科目の評価は100点満点とし、Ａ（80点以上）Ｂ（70～79点）Ｃ（60～69点）Ｄ（60点未満）の４段階で評価し、Ｃ以上を合格とする。
・GPA評価は、本試験の点数により、90点以上を４、80～89点を３、70～79点を２、60～69点を１、60点未満は０ポイントとし、総ポイント数を総取得単位数で割ったものをGPA評価とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧にて提示している 学校にて閲覧可能

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

＜卒業時の学修目標に対する取り組み＞
・自校の教育理念に基づき、卒業時に身につけてもらいたい資質、能力を学生便覧の「長期的ルーブリック」にて明確に示している。修業年限の３年間で段階的に目標を達成できるよう、学年ごとに目標を定め、各学年終了時に、学生自身にも自己評価させている。
　この評価の結果が直接卒業認定に影響することはないが、教員や学生が相互に目標到達度を把握し、次なる課題に向けて進むための動機づけとして活用している。

＜卒業認定に関する策定・取り組み＞
・卒業認定について学則に定め、修業年限３年以上本校に在学し（ただし、学生は６年を超えて在学することはできない）、学則によって定められた教育課程（現在104単位）の必要な単位数を修得した学生について、運営会議の議を経て卒業認定する。
・卒業を認定した者に対し、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。
・卒業認定に関する事項は、学生便覧に提示している他、入学時に保護者説明をおこなっている。
・３年生の夏季休業中に、単位の修得状況と卒業までの見通しについて、本人や保護者の理解も得られるよう、三者面談を実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧にて提示している 学校にて閲覧可能

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	日南看護専門学校
設置者名	学校法人

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	法人本部において閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	法人本部において閲覧可能
財産目録	法人本部において閲覧可能
事業報告書	法人本部において閲覧可能
監事による監査報告（書）	法人本部において閲覧可能

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	全日制	看護	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104単位 単位時間／単位	81単位 単位時間/単位	単位時間/単位	23単位 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			104単位 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	67人	0人	10人	85人	95人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業科目の開講日時、学習目標、進度、評価方法についてシラバスを作成し学生個人に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、単位認定試験・課題レポート・技術試験を実施し、課題レポート・技術演習については評価基準を事前提示してから実施している。 試験結果は、公表しその都度個人にも返却している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業認定について学則に定め、出席日数、単位認定についての各学年の１年に３回成績表を送付し、運営会議において認定する。
学修支援等
（概要） 講義終了後に小テストを行い、知識の習得状況を確認したり、個別に学習会を実施している

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 （93%）	0 人 （　　%）	28 人 （100%）	0 人 （　　%）
（主な就職、業界等） 看護師			
（就職指導内容） 面接を行い、就職希望先のパンフレット・就職案内を元に内容を検討。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	1 人	1.4%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人面談、カウンセリング、三者面談を実施。		

②学校単位の情報

a）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
看護	100,000円	580,000円	392,000円	1年生
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	

修学支援（任意記載事項）

b）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 日南看護専門学校にて閲覧可能 今後、ホームページにて公表予定　https://nichigaku.info/
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
1年に2回学校評価委員会を開き、学校側より学生の状況、国家試験対策、行事予定等を説明し、委員の方々より意見・要望をいただきよりよい学校づくりに取り組む。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
学校法人　日南学園 理事長	R7.5.31～R11.5.30	法人理事長
日南学園高等学校 校長	R7.5.31～R11.5.30	関連学校長
元学校法人日南学園 理事長	R7.5.31～R11.5.30	元法人理事長
会社役員 コーストライフ社	R7.5.31～R11.5.30	企業等委員
会社員 宮崎太陽銀行	R7.5.31～R11.5.30	企業等委員
会社役員 油津応援団	R7.5.31～R11.5.30	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 日南看護専門学校にて閲覧可能 今後、ホームページにて公表予定　https://nichigaku.info/
第三者による学校評価（任意記載事項）

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://nichigaku.info/